



2021.3.1 No.70

佐倉市八街市酒々井町消防組合

|                            |   |
|----------------------------|---|
| 消防団中継放水訓練／新型コロナウイルス感染症防止対策 | 2 |
| 救助服の更新／春季火災予防運動            |   |
| 住宅用火災警報器の設置                | 3 |
| 消防協力者表彰／災害発生状況             |   |
| 人事行政運営等の状況／決算状況            | 4 |

# CSR・ブリーチング訓練を実施しました

令和2年11月29日及び12月20日、大同産業株式会社(八街市)の敷地を借用し、高度救助技術教育訓練の一環として、CSR・ブリーチング訓練を実施しました。

CSRとは、コンファインドスペースレスキュー(Confined Space Rescue)の略で、狭小空間に取り残された又は挟まれ等により身動きが取れない要救助者を救出する手法で、ブリーチングとは災害現場で倒壊建物内を検索する際、隊員の進入経路、要救助者の救出経路を確保するために鉄筋コンクリート構造の壁や床をできるだけ安全に効率よく破壊する手法のことを言います。

訓練内容としては、大同産業株式会社の指導によるハンマーの取扱いを実施した後、瓦礫上での要救助者搬送等及びCSR・ブリーチング訓練を実施しました。

今回の訓練は企業の施設を借用するという初の試みでしたが、実際の瓦礫上で要救助者を担架に乗せ搬送する過酷さを経験



瓦礫上での要救助者搬送

し、又多くの資器材を使用して、より良い手法を追及したCSR・ブリーチング等、とても有意義な訓練を実施することができ、各隊員が得たものは非常に大きいものでした。

今後も質の高い訓練を重ね、より高度な知識、技術を身に付けていき、最良の救助活動が行えるよう追求していきます。

また、今回の訓練に協力いただきました大同産業株式会社の皆様に御礼を申し上げます。



狭小空間に進入する救助隊員



ブリーチング訓練

## 土砂・風水害機動支援部隊特殊車両習熟訓練を合同で実施しました

令和2年10月26日から11月11日にかけて、隣接する山武郡市広域行政組合消防本部(千葉県東金市等の5市町を管轄)と合同で、土砂・風水害機動支援部隊特殊車両習熟訓練を実施しました。

当消防組合に配備されている「津波・大規模風水害対策車(水陸両用バギー等を搭載)」と山武郡市広域行政組合消防本部に配備されている「中型水陸両用車」は、総務省消防庁より貸与されている緊急消防援助隊(※)の登録車両で土砂・風水害機動支援部隊に指定されており、全国各地へ応援に駆け付ける任務を担っています。

訓練は、酒々井リサイクル文化センター及び印旛沼中央排水路を会場に、それぞれの特殊車両でガレ場の走行や泥濘地、浸水場所の航行を実施しました。

訓練の結果、それぞれの車両特性を両機関の隊員が共有し、災害時の運用及び連携技術の向上を図ることが出来ました。

今後も、このような訓練を定期的に実施し、皆様の安心・安全に資することが出来るよう努めます。

また、会場提供等、訓練に協力いただきました関係者の皆様に御礼を申し上げます。



※緊急消防援助隊：平成7年1月の阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、国内で発生した地震等の大規模災害時における人命救助活動等をより効果的かつ迅速に実施し得るよう、全国の消防機関相互による援助体制を構築するため、全国の消防本部の協力を得て、同年6月に創設されました。

平時時においては、それぞれの地域における消防責任の遂行に全力を挙げる一方、国内のいづれかの地域で大規模災害が発生した場合には、消防庁長官の求め又は指示により、全国から当該災害に対応するための消防部隊が被災地に集中的に出動し、人命救助等の消防活動を実施するものです。



水陸両用バギー(左)、中型水陸両用車(右)